

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000101
事業所名	グループホームあおぞら

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地元の保育園児、小学生とハロウィンパーティーで交流し、中学生の職業体験を受け入れるなど、地域の子供達との交流を図っている。また、地域の祭り、盆踊り、防災訓練など様々な地域の行事に参加している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	自治会長、地域包括支援センター職員、利用者、家族の参加が得られている。ホームの現状報告を行い、意見、要望を聞き運営に活かされている。ホームへ入居後、面会に行き難いという印象が払拭されたとの意見をもらっている。運営推進会議は、地域からの情報収集の良い機会となっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	毎月介護相談員の訪問の受け入れ、役所窓口へ直接訪れる事で、日頃から相談しやすい関係づくりの構築に努めている。地域包括支援センターの協力を得て、家族の認知症の理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を実施した。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	利用者からは、普段の表情や会話から要望を聞き出すようにしている。要望はカンファレンスで話し合い、迅速な対応に心がけている。家族からは、面会時に積極的に近況報告を行い、情報収集を行っている。体操、散歩などをプランに組み込み、要望に沿ったケアを行っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○				